

A 欧 文

A-a

1. Hirakawa C, Tanaka K, Takaya Y, Nakagawa S, Kataoka Y, Tagawa Y, Niwa M.: Development of a Novel Cell-based Assay to Evaluate the Malignant Potential of Cancer In Vitro. *Anticancer Research*29:2541-2546,2009(IF: 1.428)* ○
2. Matsui M, Braun KL: Japanese Americans' death attitudes and preferences for end-of-life care. *Journal of Hospice & Palliative Nursing* 11(6): 353-361, 2009◎
3. Seki M, Kosai K, Hara A, Imamura Y, Nakamura S, Kurihara S, Izumikawa K, Takeya H, Yamamoto Y, Yanagihara K, Miyazaki Y, Mukae H, Tashiro T, Kohno S: Expression and DNA microarray analysis of a platelet activating factor-related molecule in severe pneumonia in mice due to influenza virus and bacterial co-infection. *Jpn J Infect Dis* 62(1): 6-10, 2009(IF: 0.961) ◎
4. Seki M, Higashiyama Y, Imamura Y, Nakamura S, Kurihara S, Izumikawa K, Takeya H, Yamamoto Y, Yanagihara K, Tashiro T, Kohno S: A clinical comparative study of piperacillin and sulbactam/ampicillin in patients with community-acquired bacterial pneumonia. *Intern Med* 48(1): 49-55, 2009 (IF: 1.002) ◎
5. Shinkawa, T, Hayashida, N. Mori, K, Washio, K. Hashiguchi, K,Taira, Y, Morishita, M. Takamura, N.Poor chewing ability is associated with lower mucosal moisture in elderly individuals. *Tohoku Journal of Experimental Medicine* 219 (4), : 263-267, 2009◎
6. Ohnishi M, Nakamura K. Capacity building of local governmental and non-governmental organizations on environmental hygiene through a community-based training workshop program. *J Interprof Care* 23(1): 4-15, 2009◎
7. Iwanaga Y, Tokunaga M, Ikuta S, Inadomi H, Araki M, Nakao Y, Miyahara H, Ohnishi M, Oishi K. Factors associated with nutritional status in children aged 6-24 months in Central African Republic: an anthropometric study at health centers in Bangui. *Journal of International Health* 24 (4): 289-298, 2009◎

A-b

1. Hamano K : Social support situation and family component of residents aged 40 years and over on remote island, Japan (from June 2005 to December 2006), 9th International Family Nursing Conference Final Program and Abstracts:150,2009 ◎
2. Matsui M, Capezuti E: Comparison of perceived autonomy among community-dwelling older adults in the United States and Japan. 19th IAGG World Congress of Gerontology and Geriatrics, *Journal of Nutrition, Health & Aging* 13 (S1): S321, 2009 ◎
3. Yamaguchi S, Inoue, A, Origuchi T, Abiru N, Kazaura Y, Matsuo N: Epidemiological aspects of potential diabetes patients visiting non-diabetes specialists at A University Hospital in Japan. The 20th World Diabetes congress, International Diabetes Federation, Montreal Canada, 2009: Abstract book p.554 ◎
4. Nakao R, Kawasaki R, Nitta A, Inokuchi S, Matsusaka N: Factor of prevention measures to frail elderly: Population-based study in Nagasaki, Japan. The 11th International Symposium of Geospatial Information Science and Urban Planning, GISUP 2009 International. 19 -24, 2009◎

A-c

1. Matsui M: Nurses' attitude toward caring for terminal patient in long term care facility. 20th International Nursing ResearchCongress, 53, 2009◎
2. Matsui M: Guideline of decision-making process in terminal care and nursing practice regarding hospice and palliative care, The 1st International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science, 153, 2009◎

A-d

1. Nomura A: “Area Studies in Nursing” from the Perspective of Medical Anthropology-Nursing and Medical Anthropology for interdisciplinary field of study. *Health Science Research* 21(2): 115-119, 2009◎

2. Iwanaga Y, Tokonaga M, Ikuta S, Inadomi H, Araki M, Nakao Y, Miyahara H, Ohnishi M, Oishi K: Factors associated with nutritional status in children aged 6-24 months in Central African Republic — An anthropometric study at health centers in Bangui-. *Journal of International Health* 24(4):289-298, 2009◎
3. Moriyama S, Kotera K, Kahn KN, Sato F, So Y, Fujishita A, Matsuda K, Nakajima H, Ishimaru T, Masuzaki H: Prognostic significance of tumor volume and microvessel density in squamous cell carcinoma of uterine cervix. *Acta Med Nagasaki* 53 (4): 77-84, 2009◎

B 邦 文

B-a

1. 田川 泰, 西中 暁, 益子洋一: 肺におけるDNA ploidy 解析の意義—過去の結果より今後の活用を考える—. *CYTOMETRY RESEARCH* 19:11-17,2009◎
2. 永江誠治, 花田裕子: 児童思春期精神科領域におけるアドヒアランス研究の動向. *日本看護学会論文集(精神看護)* 40:134-136,2009◎
3. 鶴崎叶梨美, 牧山智貴, 永江誠治, 花田裕子: 子どものグループ療法における看護学生の役割の検討. *日本看護学会論文集(精神看護)* 40:60-62,2009◎
4. 東嶋美佐子, 田平隆行, 中川弘巳, 井口 茂, 中尾理恵子, 大町いづみ, 中原和美, 川崎涼子, 新田章子, 松坂誠應: デイケア利用者における摂食機能障害徴候に関する実態調査. *日本作業療法研究学会雑誌* 12(2):25-30,2009◎
5. 松井美帆, 川崎涼子, 新田章子, 松本雅子: 離島高齢者における終末期ケアの意向に関する調査. *厚生の指標* 56(3):18-23, 2009
6. 黒田暁子, 池見香織, 松井美帆: 高齢者に対する化粧教室の心理・社会的効果. *ホスピスケアと在宅ケア* 17(1):6-9, 2009◎
7. 松井美帆, 新田章子, 田口幹奈子: 高齢者に対する認知症の情報提供と初期症状への対処行動. *厚生の指標* 56(8):18-24, 2009
8. 松井美帆: 終末期医療の決定プロセスに関するガイドラインと看護師のホスピス緩和ケアの知識・実践の現況. *生命倫理* 19 (1):106-111, 2009
9. 山口智美, 井上昌代, 折口智樹, 阿比留教生, 風浦吉江, 松尾直美: A大学病院の糖尿病非専門診療科に存在する糖尿病予備群像:保健学研究22 (1) : 25-32, 2009◎
10. 中村茂樹, 柳原克紀, 森永芳智, 木谷貴嘉, 松田淳一, 泉川公一, 関雅文, 掛屋弘, 山本善裕, 田代隆良, 上平 憲, 河野 茂: 下気道由来検体から分離された β -lactamase non-producing ampicillin resistant *Haemophilus influenzae* (BLNAR) の分離頻度と薬剤感受性. *日本化学療法学会雑誌* 57(1) : 32-25, 2009
11. 辻 慶子,濱野香苗: 単元「清潔の援助」における演習方法の違いによる清潔イメージの比較—連想調査を用いて—, *日本看護学教育学会誌* 18(3) : 55-61,2009◎
12. 早川 肇, 野村亜由美: 探究型学習による問題作成の教育効果. *日本数学教育学会* 91 : 316, 2009
13. 早川 肇, 野村亜由美: インターネットを使った探究型学習の教育効果. *日本教育工学会* 9 (1) :105-112, 2009
14. 濱口大輔, 松田勝也, 北島道夫, 小寺宏平, 森山伸吾, 中島久良, 増崎英明: IUD装着後の放線菌感染症が術後細胞診により確定した1例. *J Jpn Soc Clin* 48 (6): 381-385, 2009

B-b

1. 中原和美, 大町いづみ, 松坂誠應, 糸山景大, 長尾哲男, 森下路子, 井口 茂, 中尾理恵子, 田平隆行, 川崎涼子: 長崎大学医学部保健学科におけるチームアプローチ教育の効果(第1報). *リハビリテーション連携科学* 10 (1):38-39,2009 ◎
2. 大町いづみ, 中原和美, 松坂誠應, 糸山景大, 長尾哲男, 森下路子, 井口 茂, 中尾理恵子, 田平隆行, 川崎涼子: 長崎大学医学部保健学科におけるチームアプローチ教育の効果(第2報). *リハビリテーション連携科学* 10 (1): 39,2009
3. 大町いづみ, 磯部佳苗, 山口知香, 水浦千沙, 山下友紀: 在宅における看取りに関する訪問看護師と医師の価値観. *死の臨床* 32(2):24,2009
4. 塩田直美, 岩下陽子, 鳥瀬留美, 岡田純也: 整形外科病棟におけるKYTの効果. 第9回日本整形外科看護研究会学術集会, 2009
5. 脇浜未紀, 鹿山五月, 片山明美, 佐藤廣行, 岡田純也: 人工透析におけるインシデント・アクシデントの分析. 平成21年度長崎県看護学会学術集会, 2009
6. 石田良江, 岡田純也, 玉井佐由美, 脇浜未紀, 佐藤廣行, 泉 理香: 透析を受けている患者の足病変の実態調査. 第42回九州人工透析研究会, 2009
7. 堀口美穂, 大久保理恵子, 西 百恵, 岡田純也: 救急輪番病院に勤務する救急外来看護師のストレス実態調査. 第12回長崎県看護協会県南ブロック協議会看護研究会, 2009

8. 根ノ詩織、後田みずえ、松岡淳子、山口智美：2 公立病院の看護師が捉える一般病棟におけるターミナルケア。死の臨床 32(2):251,2009.
9. 井上高博,福間和美, 横尾誠一, 片岡未央：介護予防事業における試案モニタリングシートの開発とその信頼性および妥当性の検討. 第11回日本在宅医学会抄録集, 162, 2009
10. 吉田悠花, 真辺 悟, 辻原涼子, 中村浩子, 横尾誠一：慢性呼吸器疾患患者のQOL に関する要因分析～SF36 とSGRQを使用したの検討. 第40回日本看護学会抄録集看護総合, 127, 2009
11. 田代隆良:肺アスペルギルス症の病態と呼吸器検体より分離されるAspergillus 属の臨床的意義. 日本臨床微生物学雑誌 19(2):67-75, 2009◎
12. 山口多恵,松尾理佳子,勝野久美子,濱野香苗：回復期リハビリテーション病棟における転倒とリハビリテーション訓練内容の実態調査.日本看護研究学会雑誌 32(3):406,2009
13. 濱野香苗：佐賀県の離島在住高齢者の死に対する準備状況.日本農村医学会雑誌 58(3): 210,2009
14. 田中麻衣, 安藤真理子, 鳥羽 希, 松尾美里, 横山友美, 中尾優子：中学・高校生の新生児の抱き方に関する研究～一連の流れを観察して～.母性衛生 50(3)：249, 2009
15. 松尾美里, 安藤真理子, 田中麻衣, 鳥羽 希, 横山友美, 中尾優子：中学・高校生の新生児の抱き方に関する研究～頭・頸部支持に着目して～. 母性衛生 50(3)：249, 2009
16. 笠井正志, 新井裕子, 池田しづ子, 市川高夫, 金沢美弥子, 金田一純子, 近藤美恵子, 杉山香代子, 住吉静香, 須田志優, 竹本真美, 瀧口さだ子, 成毛一子, 長谷川ゆり子, 樋口ひとみ, 藤田直久, 村山郁子, 山崎真紀子, 山之上弘樹, 由良温宣, 波多江新平：【特集：院内感染予防対策】小児科領域における感染予防対策の考え方～抗菌薬, 各種デバイスの適正使用と手洗いの基本手技～クリニックマガジン5:51-58,2009
17. 藤田直久, 新井裕子, 井内律子, 池田しづ子, 市川高夫, 遠藤康伸, 垣根美幸, 金沢美弥子, 金田一純子, 杉山香代子, 竹本真美, 瀧口さだ子, 成毛一子, 長谷川ゆり子, 樋口ひとみ, 村山郁子, 森本美智子, 山崎真紀子, 山之上弘樹, 由良温宣, 波多江新平：【特集：院内感染予防対策特集】インフルエンザ流行下の感染予防対策～新型インフルエンザA (H1N1) を中心に～.クリニックマガジン12:43-52,2009

B-c

1. 田代隆良：動物より伝播される感染症（特にイヌ, ネコ, ウサギ, ネズミに咬まれたとき）.（山口 徹, 北原光男, 福井次矢（編）：今日の治療指針 2009年版, 医学書院, 東京, pp173-175 所収）. 2009
2. 田代隆良：ノカルジア症, 放線菌症, 真菌症. 高久史磨監修, 貫和敏博編集：新臨床内科学, 第9版. 医学書院, 東京, pp1316-1317, 1379-1383 所収）, 2009
3. 田代隆良：ニューモシスチス肺炎.（小川 聡(総編集)：内科学書vol.2, 改訂第7版, 中山書店, 東京, pp351-352 所収）. 2009
4. 田代隆良, 松下修三, 藤田紘一郎：感染症（岡庭 豊（編）：イヤーノート内科・外科編2010年版, メディックメディア, 東京, ppH1-H100 所収）, 2009◎
5. 田代隆良：深在性真菌症（医療情報科学研究所（編）：主要病態・主要疾患の論文集2010, メディックメディア, 東京, pp1331-1343 所収）, 2009◎
6. 松井美帆,新田章子, 山口多恵：日本老年看護学会誌1996年発刊～2008年の文献の分析. 日本老年看護学会第14回学術集会抄録集, 277, 2009◎
7. 松井美帆:高齢者の自律性に関連する要因の検討. 第29回日本看護科学学会学術集会講演集, 479, 2009◎
8. 山口多恵,松尾理佳子,勝野久美子,濱野香苗：回復期リハビリテーション病棟における高齢者の転倒・転落事故の実態,第19回九州農村医学会抄録集, 35, 2009◎
9. 宮寄紀枝子,中村貴子,岩崎美千子,勝野久美子,濱野香苗,浦田秀子,山崎不二子：長崎県下看護学生の日常生活における生活技術経験および生活習慣の実態,平成21年度長崎県看護学会学術集会抄録集, 32, 2009 ◎
10. 濱野香苗:A県の離島在住高齢者の孤独感と家族構成,日本家族看護学会第16回学術集会講演集,113,2009◎
11. 濱野香苗: 3 年制看護学生の卒業時の他者依存性の状況ー平成11年卒と平成21年卒の比較ー,日本看護学教育学会第19回学術集会講演集, 179, 2009◎
12. 川野千鶴,濱野香苗：新人看護師の自信につながる先輩看護師および患者の言動, 第40 回日本看護学会一看護管理一抄録集, 379, 2009◎
13. 中島久良: 附属器2.（日本臨床細胞学会教育委員会（編: 第34回細胞診断学セミナーテキスト, 日本臨床細胞学会教育委員会, 東京, pp.70-74 所収）2009
14. 中島久良: ウインター症候群, 弓状子宮, クリッペル-フェイユ症候群, 痕跡副角, 子宮奇形, 子宮奇形を伴う多発奇形症候群, ジャルコ分類, 双角子宮, 中隔子宮, 手足子宮症候群, トアフ分類, フレーザー症候群. (伊藤正男, 井村裕夫, 高久史磨(編): 医学大辞典 第2版, 医学書院, 東京, pp 205, 617, 726, 1024, 1130, 1130, 1242, 1668, 1841,1903, 1967, 2489 所収) 2009
15. 山崎真紀子, 入山茂美, 濱寄真由美, 本多洋子：母乳育児中の母親のSense of Coherence(SOC)と母乳育児負担感の関係. 日本助産学会誌 22(3) :371, 2009

16. 濱寄真由美, 本多洋子, 入山茂美, 山崎真紀子: 産褥早期の母乳育児自己効力感と母乳育児状況. 日本助産学会誌 22(3):454, 2009
17. 村山郁子, 藤田直久, 大野聖子, 辻 千晶, 竹本真美, 山崎真紀子, 近藤美恵子, 古田信弘, 岡田成彦, 波多江新平: 外国の病院に学ぶ感染予防対策搾乳母乳の栄養学的及び衛生的管理に関する考察. 環境感染誌 24 supplement 262, 2009
18. 藤田直久, 山之上弘樹, 新井裕子, 村山郁子, 金澤美弥子, 山崎真紀子, 成毛一子, 遠藤康伸, 杉山香代子, 波多江新平: 外国の病院に学ぶ感染予防対策～輸液の調製と管理 (細菌の時限爆弾を爆発させないために) ～. 環境感染誌 24 supplement 391, 2009

B-d

1. 永江誠治, 花田裕子: 精神科看護における服薬アドヒアランス研究の現状と課題. 保健学研究 22(1):p41-50,2009
2. 高石会里, 永江誠治, 花田裕子: マインドマップによる看護学生のコミュニケーションの変化の検討. 保健学研究 22(1):p 33-39,2009◎
3. 野村亜由美, 田代隆良, 横尾誠一, 井上晶代, 濱野香苗, 松本 正, 楠葉洋子: 学生の認知行動を高める「フィジカルイグザミネーション実技試験」導入の試み. 保健学研究 21 (2) : 107-113, 2009◎
4. 大町いづみ, 横尾誠一, 水浦千沙, 山下友紀, 磯部佳苗, 山口知香: 一般病院勤務看護師のターミナルケア態度に関連する要因の分析. 保健学研究 21(2):43-50,2009◎
5. 松島由美, 大町いづみ, 横尾誠一, 吉原麻由美: 長崎県における訪問看護師の看取りへの態度に関連する要因の分析. 第14回訪問看護・在宅ケア研究助成事業報告書財団法人日本訪問看護振興財団, pp57-67,2009
6. 松井美帆: 高齢者の自律性の評価と関連要因の検討. 調査研究報告書豊かな高齢社会の探求Vol.17 (CD-ROM), 平成19年度ユニバーサル財団研究助成, 2009
7. 新田章子, 川崎涼子, 中尾理恵子, 井口 茂, 松坂誠應, 在宅高齢者の介護予防に影響を及ぼす要因第2報社会活動指標による分析結果. 第13回日本在宅ケア学会学術集会, P 188, 2009
8. 山口智美, 浦田秀子, 入山茂美, 井上昌代, 中尾優子, 佐々木規子, 野村亜由美, 田中悟郎, 鶴崎俊哉, 中島久良: ハワイ, カウアイ・コミュニティ・カレッジ教員・看護学生受け入れ報告2007-2008. 保健学研究 21 (2) : 85-92,2009
9. 大西真由美, 中尾理恵子, 森藤香奈子, 山口智美, 横尾誠一, 折口智樹, 菊池泰樹, 中島久良: 晋州保健大学との交流プログラム実施報告. 保健学研究 21(2): 93-98, 2009◎
10. 田代隆良, 泉野里美, 迫志織理, 濱家祐子, 原由香里, 谷辺広美, 長岡清子: 50 歳代男性の職業性ストレスとメタボリックシンドロームー職業性ストレス簡易調査票を用いてー. 保健学研究 21(2): 57-63, 2009
11. 浦田秀子, 中尾理恵子, 森藤香奈子, 井上晶代, 森 豊子, 下田澄江: 平成18・19 年度臨地実習指導者研修会の実施報告ー安全に看護実践するための指導体制づくりをテーマとしてー. 保健学研究 21(2): 85-92, 2009◎
12. 竹嶋順平, 楠葉洋子, 浦田秀子: 外来に通院している血液疾患患者のQOLとその関連要因. 保健学研究 22(1): 9-15, 2009◎
13. 山口多恵, 松尾理恵子, 勝野久美子, 濱野香苗: 回復期リハビリテーション病棟における転倒とリハビリテーション訓練内容の実態調査. 保健学研究 22(1): 17-24,2009 ◎
14. 野村亜由美: 健康についての医療人類学的一考察ーWHO の健康定義から現代日本の健康ブームまで. 保健学研究 21 (2) : 19-27, 2009◎
15. 野村亜由美: 書評小沢勲著『ケアってなんだろう』. 保健学研究 21 (2) : 73-78, 2009◎
16. 野村亜由美, 太田保之, 門司和彦, 本田純久, Amarasinghe S: スリランカにおける津波被災後の心的外傷後ストレス障害と認知症の関連要因. 平成18年度科学研究費補助金研究経過報告書, 2009
17. 赤星衣美, 宮原春美, 中尾優子, 山本直子, 岩永洋子, 中島久良, 大石和代: 新人助産師の職場適応プロセス. 保健学研究 21(2):35-42,2009◎
18. 赤星衣美, 宮原春美, 中尾優子, 山本直子, 岩永洋子, 中島久良, 大石和代: 新人助産師の職場適応プロセス. 保健学研究 21(2):35-P42, 2009◎
19. 荒木美幸, 大石和代: 長崎県の明治初期における産婆取締りについて. 保健学研究 22(1):51-55, 2009◎

原著論文数一覧

	A-a	A-b	A-c	A-d	合計	SCI	B-a	B-b	B-c	B-d	合計	総計
2009	7	4	2	3	16	3	14	17	18	19	68	84

学会発表数一覧

	A-a	A-b		合計	B-a	B-b		合計	総計
		シンポジウム	学会			シンポジウム	学会		
2009	2	2	5	9	6	2	91	99	108

原著論文総数に係る教員生産係数一覧

	欧文論文総数 論文総数	教員生産係数 (欧文論文)	SCI 掲載論文数 欧文論文総数	教員生産係数 (SCI 掲載論文)
2009	0.19	0.471	0.188	0.088

Impact factor値一覧

	Impact factor	教員当たり Impact factor	論文当たり Impact factor
2009	3.391	0.1	1.13